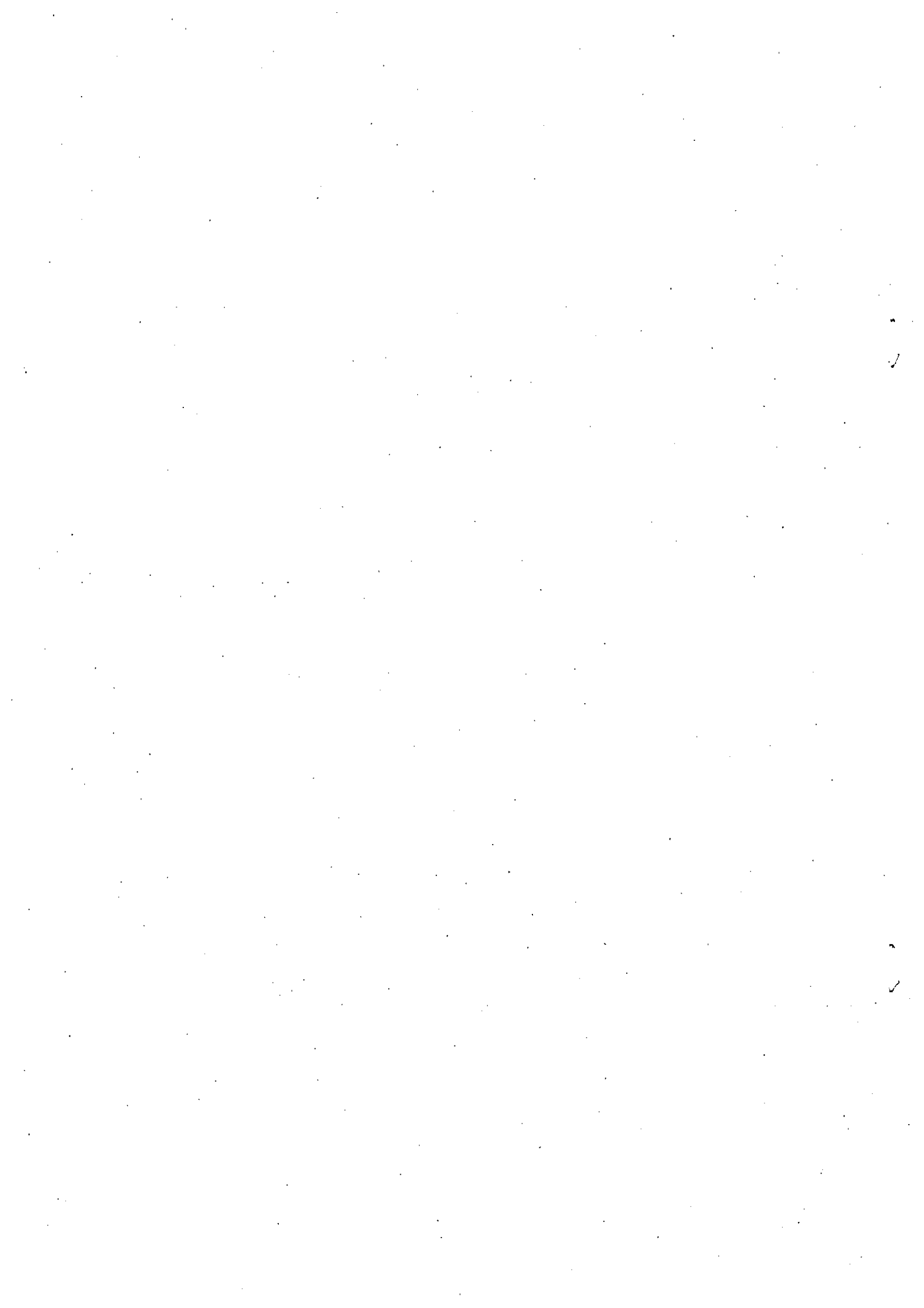


地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年10月7日)

- 1 京都産業大学との包括連携に関する協定の締結について
【教育・学術振興課】・・・1ページ
- 2 日韓生涯スポーツ交流事業の開催結果について
【スポーツ課】・・・2ページ
- 3 グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA2016の開催結果について
【スポーツ課】・・・3ページ

地域振興部



京都産業大学との包括連携に関する協定の締結について

平成28年10月7日
関 西 本 部
教育・学術振興課
就 業 支 援 課

県出身学生等に対する直接的な情報発信等を通じた効果的なI J Uターン就職支援を推進するとともに、大学の研究、教育及び社会貢献活動の発展並びに大学・県等の特色を活かした地域の活性化に寄与するため、このたび、京都産業大学（京都市北区）との包括協定を締結するとともに、取組みを具体化するため2つの個別協定を締結することとし、本日、調印式を行います。

1 調印式について

- (1) 日 時 10月7日（金）午後4時15分から4時45分まで
- (2) 場 所 鳥取県知事公邸（鳥取市東町1丁目133）
- (3) 内 容 協定書署名、記念撮影、代表者挨拶（平井知事、大城京都産業大学学長）等

2 協定内容及び取組み

(1) 京都産業大学、鳥取県及び（公財）ふるさと鳥取県定住機構の連携に関する包括協定

〔協定者〕 京都産業大学、鳥取県、（公財）ふるさと鳥取県定住機構

〔主な連携協力事項〕

- ① 学生の就職支援に関すること
- ② 地域の健康づくり計画への助言・支援など、健康・福祉の増進に関すること
- ③ 鳥獣害対策への助言・支援など、環境保全に関すること
- ④ 大学教員による公開講座の開催など、文化・教育の振興に関すること
- ⑤ 大学の研究シーズを活用した県内企業との共同開発など、産業の振興に関すること
- ⑥ 学生による地域おこし活動等への参画、地域の課題解決など、地域の振興に関すること
- ⑦ 教育研究を通じた人材の育成に関すること

(2) 京都産業大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学及び鳥取県の連携に関する協定

〔協定者〕 京都産業大学、鳥取看護大学、鳥取短期大学、鳥取県

〔主な連携協力事項〕

- ① 県中部地域を中心とした地域振興（健康増進、まちづくりの推進等を通じた地域の活性化）
- ② 各大学の教職員、学生等による連携、協力
- ③ 地域住民との相互交流による教育・研究の実践

(3) 京都産業大学と鳥取市教育委員会との連携協力に関する協定

〔協定者〕 京都産業大学、鳥取市教育委員会 ※鳥取県知事を立会人として協定を締結する

〔主な連携協力事項〕

- ① 教育・文化の振興に関すること（京都産業大学神山天文台と佐治天文台との連携）
- ② 人材育成に関すること
- ③ 生涯学習に関すること

〔京都産業大学について〕

- ・設 立：1965年（昭和40年）、宇宙物理学者・荒木 俊馬によって創設。昨年、創立50周年を迎えた。
- ・学 部：経済学部、経営学部、法学部、外国語学部、文化学部、理学部、コンピュータ理工学部、総合生命科学部、現代社会学部（平成29年度開設予定）
- ・学 生 数：12,806名 うち鳥取県出身在学生数は111名（平成28年5月1日現在）
- ・主な研究者：益川 敏英教授（平成20年にノーベル物理学賞を受賞、益川塾塾頭）、大槻 公一教授（鳥インフルエンザ研究センター長、長年鳥取大学でも研究に携わった）など
- ・都道府県との包括協定の締結は、今回が初めて。

〔これまで、家畜防疫体制強化等に係る連携協定を京都府と、また就職支援協定を7県（福井県、香川県、滋賀県、石川県、徳島県、岡山県、広島県）と締結している。〕

日韓生涯スポーツ交流事業の開催結果について

平成28年10月7日
スポーツ課

韓国江原道で開催される江原道民生活体育大会のバドミントン競技及びゲートボール競技に参加するため、本県の生涯スポーツ選手団40名を派遣し、生涯スポーツ交流を通じた本県と江原道の友好を深めました。

- 1 期 間 平成28年9月23日(金)から同月27日(火)まで
- 2 場 所 韓国江原道原州(ウォンジュ)市
- 3 選手団概要 鳥取県生涯スポーツ選手団40名
 - ・本部役員4名
(県地域振興部新スポーツ振興監、スポーツ課担当職員2名、観光交流局交流推進課国際交流員)
 - ・バドミントン選手団20名
(県バドミントン協会源理事長(監督)、石谷副理事長(コーチ)、会員18名)
 - ・ゲートボール選手団16名
(県ゲートボール協会中村会長(監督兼コーチ)、会員15名)

4 期間中の主な行事

- 23日(金) 韓国江原道民生活体育大会開会式
韓国江原道体育会主催歓迎レセプション
- 24日(土) 韓国江原道民生活体育大会競技別試合
- 25日(日) 韓国江原道民生活体育大会競技別試合
- 26日(月) 韓国江原道原州市内視察(韓国の文化体験等)
韓国江原道原州市主催送別会

《第24回韓国江原道民生活体育大会について(毎年開催)》

期 間：平成28年9月24日(土)・同月25日(日)

場 所：韓国江原道原州市各地

参加人数：約8,000人(バドミントン約350人、ゲートボール約290人)

参加競技：23競技

5 競技結果

韓国江原道民生活体育大会参加19チーム中の鳥取県選手団の主な成績

- (1) バドミントン ・混合ダブルス40代 2位
・女子ダブルス30代 3位
- (2) ゲートボール ・混合チーム 3位

6 鳥取県選手の声

- ・言葉は通じないが、試合をすることで通じ合うものがあり、スポーツ交流は素晴らしいものだと感じた。
- ・自分たちと同じ「楽しみながらスポーツをする」韓国の選手と交流できてよかった。
- ・自分たちと同じ年代の選手でも、韓国では体格やプレースタイルが違い、とても刺激になった。
- ・使っている試合用具が日本と韓国で違って、勉強になった。



グラウンド・ゴルフ国際大会 YURIHAMA2016 の開催結果について

平成28年10月7日
スポーツ課

生涯スポーツ振興の気運づくり及び本県発祥のグラウンド・ゴルフの聖地化、2021年に行われる関西ワールドマスターズゲームズ2021のグラウンド・ゴルフ競技県内開催を目指すため、10月2日に「グラウンド・ゴルフ国際大会YURIHAMA2016」を開催しました。

12カ国から参加があり、国境を越えたプレーヤー同士の交流が図られました。

1 概要

- (1) 期 日 平成28年10月2日(日)
- (2) 会 場 潮風の丘とまり
- (3) 主 催 グラウンド・ゴルフ国際大会実行委員会
(鳥取県・湯梨浜町・湯梨浜町グラウンド・ゴルフ協会他)
- (4) 参加人数 176名/12カ国(海外から5カ国)
《内訳》
韓国(39)、モンゴル(19)、ポーランド(6)、スペイン(3)、ロシア(1)、
中国(9)、アメリカ(2)、マレーシア(1)、インドネシア(1)、カナダ(1)、
ブラジル(1)、日本(93)
- (5) その他 海外参加者、国内参加者に分けて個人順位を決める方式で開催。
大会前日の10月1日(土)には、実行委員会主催の「参加者交流会」を国民宿舎水明荘で開催し、5カ国約80人が参加。

2 参加者の声

- ・健康づくりのため、78歳の時に始めた。丸13年やっているが、楽しい。(韓国から参加の91歳の方)
- ・力の加減が面白い。2回目でホール・イン・ワンを出した。これからも続けるつもり。(モンゴルから参加の7歳の男の子)
- ・グラウンド・ゴルフは初めて。友達繋がり今回参加した。ポーランドでは知られていないので、広めていきたい。(ポーランドから参加の方)
- ・2008年に仕事で日本に来た際、日本グラウンド・ゴルフ協会の園山会長と知り合ったのがきっかけで、スペインでも普及を進めている。ゴルフと違い、プレーヤーの距離が近く、選手同士でコミュニケーションを取りやすいのがいい。スペインでは、子ども中心に普及が進んでいる。(スペインから参加の方)
- ・モンゴルは、ロシア、中央アジア、東欧等とのネットワークがあり、グラウンド・ゴルフの国際化に協力できる。(モンゴルマスターズ協会会長 ナランバートル氏)



